

企業紹介

食品物流企業としてトータルに お客様のニーズに応えます



代表取締役社長 井越 鉄雄
〒950-0114 新潟市江南区茗荷谷679番地5
TEL 025-277-1022 FAX 025-277-1044
<http://www.nsu365.com>

業 種：一般貨物自動車運送業
資 本 金：25,704万円
事業内容：食品輸送、倉庫業、保税蔵置場

日常生活に欠かすことのできない食品の物流を専門とし、独自の総合物流システムを構築する(株)新潟食品運輸。年々、多様化・成熟化する消費者ニーズを的確に捉え、「迅速・確実・丁寧・親切」をモットーに、充実した食品輸送サービスの提供を目指している。

商品の混載便で各市場へ効率配送

同社は、食品の配送業として昭和56年に旧亀田町で創業。当初は、かまぼこなどの練り製品の取扱が主力で、水産市場を中心に東北・北陸方面への配送を行っていた。当時、食品関係の配送は1荷主の単独配送が主流であったが、同社は積載効率を考慮し、複数荷主の混載便という形で各市場へ配送を行った。

徐々に取扱商品が増加する中、配送拠点となるセンターの設置が必要と考え、平成元年、新本社建設にあわせ、食品関係では県内初の配送センターを新設した。業容拡大に伴い平成7年には、北陸自動車道の中之島見附インター隣接地に「長岡物流センター」を建設。同センターは、良好な輸送アクセスに加え、定温・冷蔵・冷凍の温度別3機能倉庫を設置しており、県内および県外向けの物流拠点として稼働している。



▲中之島見附インターに隣接する長岡物流センター

県内最大規模の物流拠点 NCLセンター

近年の食品業界では、自前で食品を管理するのではなく、保管を外部委託するケースが増加している。こうした需要を取り込むため、平成22年、「長岡物流センター」の規模を拡大する形で、新潟中央卸売市場内に「NCLセンター」を新設した。同センターには、商品を受入時と同じ状態に保つため、4温度帯（-25℃、±0℃、+5℃、+5℃～+15℃）の大型冷凍・冷蔵倉庫を備え、さらに配送用の専用トラックにも車内で温度管理を行えるよう装備。トラック32台同時に荷物の積み下ろしができ、食品向けの物流センターとしては県内最大級の規模。

また、人の出入り口をクリーンルーム1カ所とするなど、衛生管理面にも十分配慮した構造になっている。取扱商品は、スーパーや大手外食チェーン向けが中心で、集荷してから出荷するまで、商品の品質管理、受発注業務、仕分け作業を一手に引き受け、顧客の物流コスト削減に貢献している。



▲新潟中央卸売市場内にあるNCLセンター

新潟から全国各地へつながる輸送ネットワーク

同社は、全国各地域の同業者と協力して、長距離の全国輸送ネットワークを構築し、商品をリレー方式で輸送することにより、全国への配送を可能としている。このネットワークでは、各業者が物流センターに商品保管機能を完備し、徹底した温度管理により安全な配送を行っている。また、県内でも、より充実した配送網を構築したいと考えており、その一環として昨年12月に「長岡第二物流センター」をオープンさせた。今後も、最先端の設備と幅広いネットワークを駆使して、充実した食品輸送サービスの提供を目指していく。



▲昨年12月にオープンした長岡第二物流センター